2013年10月号「vol.40」◎編集：新井絹世　横浜市磯子区丸山2-24-3　◎電話：045-751-5250 ◎FAX：045-761-7451

県議会議員

あらい絹世の 磯っ子レポート

県政をもっと身近に

http://www.araikinuyo.jp

「3033運動」と「県民スポーツ週間」柱に推進
神奈川県の「運動に親しんでもらう」事業

人々が健康を保つには「栄養」「運動」「睡眠」をしっかり取ることが大切だと言われます。しかし人類は今日、栄養過多の一方、運動不足で肥満に悩まされるようになりました。日本は4人に1人が65歳以上で、介護に支えられて生活をしている人も少なくない（2012年度の介護保険利用者約543万人）という事情もあって健康の問題はより深刻です。このため行政機関でも「運動に親しんでもらうなかで、人々の健康づくりを推進していこう」とさまざまな施策を進めています。

国と市町村の間にある都道府県でもその特殊性を活かした取り組みを進めていますが、神奈川県では広域自治体として、市町村を結んだネットワーク活動を推進するとともに、独自に考案した「運動を暮らしの中に取り入れ、日常化してもらう」ための「3033運動」と「このきっかけづくりをしてもらう」ための「県民スポーツ週間」を柱に据えた施策を展開しています。またオリンピックと神奈川県のかかわりですが1964年の東京オリンピックではバレー、サッカー、ヨット、カヌーの4種目が県内の施設で行われました。2020年の東京大会に向けては、知事から、県庁内に関係する部署の横断的な組織をつくるところから始めたい意向が示されています。

【市町村とのネットワーク事業】 ①県の主催で1947年から毎年、「市町村対抗かながわ駅伝大会」が開かれている。全国的にも先駆けの事業 ②国の方針に沿い県と県立体育センターが、各市町村で種目や年齢などの壁を取り払った総合地域スポーツクラブが設置されるよう応援している。現在25市町村で75クラブが設けられている ③市町村では設置しにくい競技人口の少ない競技の施設を設けている（射撃場、カヌー場など）

【3033運動】 運動やスポーツを1日30分、週3回、3カ月間継続して行うことで、それらを生活の一部として習慣化しようという内容。ウオーキング、体操など気軽に取り組める運動でOK。

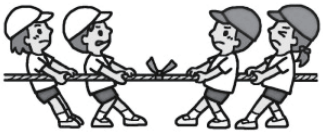
【県民スポーツ週間】 毎年、体育の日の前後2週間に体験教室など県民参加型の各種のスポーツ行事を開催。昨年は約40万人が参加。今年は10月5日～20日。内容などの問い合わせは県教育委員会のスポーツ課（電話045―210―8378）へ。

コレが言いたい！

「県民の体力・スポーツに関する調査」で「運動不足を感じている」と答えた人が85・3％に上っています。健康寿命を延ばすためにも運動やスポーツをくらしの一部として習慣化していくことが必要です。例えば駅や企業の階段蹴上げ部分に3033運動の標語を貼って貰い、3033運動を日常生活に取り入れる取り組みを進めるべきです。

今月のひと言

10月は地区連合町内会単位で「健民祭（運動会）」が開催されます。運動を通して子どもから高齢者まで、地域の皆さんが一緒になって交流し連携できますので、ぜひ地域の「健民祭」に参加されてみては?!



磯子 あれ？これ？

明治の土木技術を示す遺構

「間坂トンネル」

参考資料：葛城　峻の郷土史レクチャーと歴史ウォーク

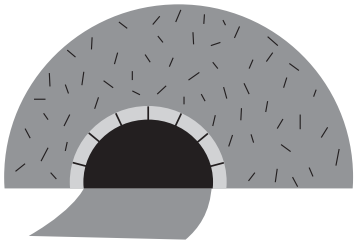
磯子駅前から旧プリンスホテルへ上がる坂道の途中、地下約7～16mの地点に幅約5mで高さ4mの空洞が100mに渡って確認されました。宅地開発で偶然見つかったこの空洞が、1888（明治21）年県の肝いりで掘られた「県営間坂トンネル」の可能性があり、この時期に造られたトンネルで市内に現存するものは他に類が無く、専門家から大変貴重な遺構と言われています。

当時の磯子村の海岸線は今の国道16号線の所まであり、丘陵地の断崖が迫って屏風ヶ浦と間坂を結ぶ部分では海岸沿いに道は無く交通の不便な場所でしたが、3年におよぶ突貫工事の末、長さ200mのトンネル（バイパス）が完成しました。

トンネル開通以前は、大きく迂回するか山越えの険しい道しかなく、トンネルには生活道路としての役割は多大なものがありました。

しかし、関東大震災で半壊したことや海岸の埋め立てが進み、崖下に県道が通り市電の延伸など交通インフラも整備されたことで、大正時代に入るとその役割を終えました。

最近では、地元の古老の方以外にその存在を知る人は少なく、忘れ去られようとしていました。現在、空洞は埋め戻されて宅地開発も進み、多くのマンション群が姿を見せ、周辺一帯は新たな趣を見せています。



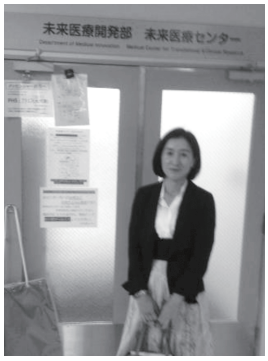
活動報告

9月4日から6日まで厚生常任委員会で県外視察をおこないました。3月に自民党厚生部会で訪れ今回2回目となる神戸市の医療産業都市や京都大学iPS細胞研究所の他、大阪大学未来医療センターや京都大学医学部精神科神経科・がんセンターなどを視察しました。

理化学研究所神戸事業所

神戸先端医療センター

がんセンター



未来医療センター

9月11日は県立金沢養護学校や県立平塚盲学校・県立平塚ろう学校の視察を行いました。平塚盲学校への通学路途中にある横断歩道には、昨年一般質問での要望により「エスコートゾーン（視覚障害者の道路横断を支援するために横断歩道中央部に道路全幅にわたって突起体を敷設した設備）」が設置されました。

平塚盲学校通学路に設置された「エスコートゾーン」

あらい絹世 プロフィール

- 昭和43年3月8日　横浜市磯子区生まれ
- 横浜雙葉小・中・高等学校卒業
- 明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業
- 日商岩井㈱ / ㈱メタルワン
- 自民党かながわ政治大学12期生
- 平成23年4月　県議会議員初当選
- 厚生常任委員/社会問題対策特別委員
- 自民党神奈川県議団副団長

あらい絹世に対するご意見・ご感想・ご要望・メッセージをお寄せ下さい・・・・・・・・・・・ FAX 045-761-7451